

参考資料

日本海国土軸の緑地資源の現況把握

参考資料

日本海国土軸の緑地資源の現況把握

目次

1 . 調査方法	1
2 . 日本海国土軸の流域圏毎の緑地資源の特性.....	3
(1) 青森県津軽地域	3
(2) 秋田県.....	5
(3) 山形県.....	10
(4) 新潟県.....	13
(5) 富山県.....	18
(6) 石川県.....	22
(7) 福井県.....	26
(8) 京都府丹後地域	30
(9) 兵庫県但馬地域	32
(10) 鳥取県.....	35
(11) 島根県.....	37
(12) 山口県長門地域	42

1. 調査方法

近代以前に地域社会構造が形成されてきた日本海沿岸地域では、自然条件が地域社会の成立に大きな役割を果たしてきた。脊梁山脈と海に迫る山地に囲まれ河川流域の盆地・平野で構成された日本海沿岸地域の緑地資源を把握するためには、流域圏を単位とした緑地資源の把握が必要となる。このため、概ね一級河川をコアとした流域圏を単位として、緑地資源を抽出し整理した。

青森県津軽地域	岩木川流域
秋田県	米代川流域、雄物川流域および八郎潟周辺と男鹿半島、子吉川流域
山形県	最上川流域
新潟県	阿賀野川・信濃川流域ほか東部地域、関川・姫川流域ほか西部地域、佐渡島
富山県	黒部川流域など東部地域、常願寺川・神通川・庄川流域など西部地域
石川県	犀川・手取川ほか流域、能登半島
福井県	九頭竜川、足羽川、日野川流域（嶺北地域）、複数の小河川流域（嶺南地域）
京都府丹後地域	由良川など小河川流域
兵庫県但馬地域	円山川流域・矢田川流域
鳥取県	千代川・天神川・日野川各流域
島根県	斐伊川流域、江の川・高津川などの流域、隠岐
山口県長門地域	阿武川ほか小河川流域

緑地資源の抽出にあたっては、その地域の自然条件や歴史性を反映しているものを取りあげてことを意識し、以下のような緑地資源を抽出した。

自然環境資源

- ・各地域の気候や地形などを反映した原生的な自然の緑地
- ・貴重な植生、渡り鳥の飛来地になっている湖沼や湿原

産業資源

- ・農・林・漁・鉱業の営みの風景や、それによって形成されてきた景観（海岸防風林や棚田、地域特有の林業や漁業、鉱山遺跡や鉱山跡など）
- ・農・林・漁・鉱業の営みに関わる集落
- ・地域の暮らしの中で形成されてきた緑地資源（屋敷林や生垣など）

歴史文化資源

- ・城下町や港町などの歴史的な街並み
- ・代表的な遺跡や史跡など

次表のように、地域指定制による保護地域や自然公園、各省庁が選定した各種百選における緑地資源を中心として抽出した。海食景観等の海岸景観については、天然記念物から抽出し、史跡については、国指定の史跡から代表的なものを抽出した。

抽出対象緑地資源一覧

	抽出対象	選定指定	実施年	選定委員会等	選定基準等
自然環境資源	森林生態系保護地域	林野庁	平成 4 年	-	森林生態系の保全、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保護などを目的として、国有林のなかで原生的な生態系が保持されている森林、または地域特性をもつ森林を指定したもの
	各種自然公園	環境大臣または府県知事	昭和 9 年	-	(国立公園) 同一の風景型式中、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景であること (国立公園) 国立公園の景観に準ずる傑出した自然の大風景であること (都道府県立自然公園) 都道府県の風景を代表する傑出した自然の風景であること
	(国および府県) 自然環境保全地域	環境大臣または府県知事	昭和 47 年	-	下記のようなすぐれた自然環境を維持している地域。 高山・亜高山性植生 (1,000ha 以上)、すぐれた天然林 (100ha 以上) 特異な地形・地質・自然現象 (10ha 以上) すぐれた自然環境を維持している河川・湖沼・海岸・湿原・海域 (10ha 以上) 植物の自生地・野生動物の生息地のうち、 ~ と同程度の自然環境を有している地域 (10ha 以上)
	水源の森百選	林野庁 (財) 緑の文明学会	平成 7 年	水源の森百選検討委員会	-
	日本の重要湿地 500	環境省	平成 13 年	-	湿原・塩性湿地、河川・湖沼、干潟・マングローブ林、藻場、サンゴ礁のうち、生物の生育・生息地として典型的または相当の規模の面積を有している場合 少種、固有種等が生育・生息している場合 多様な生物相を有している場合 特定の種の個体群のうち、相当数の割合の個体数が生息する場合 生物の生活史の中で不可欠な地域 (採餌場、産卵場等) である場合
	名水百選	環境省	昭和 60 年	名水百選調査検討会	良好な保全状況 (水質・水量、周辺環境 (景観)、親水性) 地域住民等による保全活動 規模、 故事来歴、 希少性、 特異性、 著名度等
	天然記念物 (海岸景観)	文化庁	-	-	-
産業環境資源	棚田百選	農水省	平成 11 年	日本の棚田百選選定委員会	健全な営農の取り組みがあること 棚田の適切な維持管理がなされていること オーナー制度や特別栽培米の導入など地域活性化の取り組みがなされていること
	農村景観百選	農水省	平成 3 年	農村景観百選調査検討会選	-
	文化的景観第 2 次調査 (502 件)	文化庁	平成 15 年	-	農林水産業の景観又は農林水産業と深い関連性を有する景観で、独特の性質と構成要素が認められること 景観百選の類に選定又は出版物等において紹介され、一般的に風景上の価値が周知されていると判断できること 現在においてもなお農林水産業又はこれらに代わる営みが継続され、景観が維持されていること 近年の改変による大規模な影響を受けず、本質的な価値を伝えていると判断できること
	日本の海岸林	村井他編	平成 4 年	ソフトサイエンス社刊	-
歴史文化資源	重要伝統的建造物群保存地区	文化庁	-	文化財審議会	-
	歴史の道百選	文化庁	平成 8 年	日本の道 100 選選定委員会	-
	日本の道百選	国土交通省	昭和 61 年 ~ 62 年	-	-
	国指定史跡	文化庁	-	-	-
	都市景観百選	国土交通省	平成 3 年 ~ 12 年	都市景観大賞審査委員会	-

2 . 日本海国土軸の流域圏毎の緑地資源の特性

(1) 青森県津軽地域

岩木川流域

豊かな自然の緑に囲まれ、生産の緑と生物空間が調和した地域

白神山地、奥羽山脈などの山々の森や、日本海につながる十三湖など、豊かな自然に囲まれた地域である。

農林業の盛んな地であり、山地の下部には、青森ヒバの森や、リンゴ畑が広がる。平野には水田を主とした田畑が開かれ、歴史の香る農村集落が残っている。

廻堰大溜池をはじめとするため池群や用水路は、水田開発の歴史を今に伝えると共に、現在もこの地域の重要な水源であり、同時に多様な生物の生息地でもある。

七里長浜には、江戸期より、厳しい冬の季節風から田畑を守るための防砂林が形成されてきた。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部に白神山地、東部に十和田湖から八甲田山を含む奥羽山脈、北部の半島部に低山地よりなる津軽山地を有する。白神山地を水源とする岩木川水系が北流して、十三湖および日本海へ流れ込んでいる。流域には、広大な津軽平野が広がる。
- ・津軽平野は、上記の山地に囲まれており、これらの山は、中核都市や農村の背景となっている。
- ・津軽平野の各地から眺めることができる独立峰・岩木山は、地域を象徴する景観資源であり、「お山参詣」に代表される歴史的な信仰の中心でもある。

< 山間部の緑 >

- ・白神山地は、非常に多様な動植物を有するブナ原生林として、平成5年、世界自然遺産に登録された。5百種以上の多様な植物が生育しており、ニホンカモシカ、ツキノワグマ等の中大型ほ乳類、イヌワシ、クマゲラ等の鳥類、約2千種の昆虫類など、多様な動物が生息している。
- ・白神山地一帯には、世界遺産地域以外にも、然ヶ岳、尾太岳など、優れたブナ原生林が残されている。
- ・岩木山、十和田湖、八甲田山周辺などに原生度の高いブナの天然林が残っている。また、津軽山地にも、四ツ滝山、丸屋形岳などを中心に、ブナの天然林が残っている。
- ・鱒ヶ沢町では、白神山地を舞台としたトレッキングなどのグリーンツーリズムを積極的に推進し、農林漁業体験などの多彩な体験メニューとあわせてグリーンツーリズムの振興を図っている。
- ・山地の下部から山際にかけては、植林地も多い。津軽山地の国有林などに広く分布している青森ヒバ(ヒノキアスナロ)は、古くから木材として利用され、日本3大美林のひとつとして知られる。
- ・山裾には、リンゴ畑が多く、この地域の特徴的な景観を形成している。

< 平野部・盆地部の緑 >

- ・平野部には水田を主とした田畑が広がっている。
- ・廻堰大溜池は、寛文4(1664)年に造成された溜池で、今日でも、津軽地方の重要な水源のひとつである。また、他の溜池群とともに、コハクチョウ、ヒシクイ、マガン、オナガカモなどの渡り鳥の飛来地としても重要な役割を有している。
- ・尾上町では、「つぼ」と呼ばれる農家庭園や、生垣、白壁土蔵が調和した独特の街並みがみられる。また、金木町藤枝では、茅葺屋根の歴史ある農村集落が残されている。
- ・尾上町では、NPO 法人を主体とした、農家蔵の保存と活用が行われており、農作業体験ファーム

ステイなどの活動と組み合わせた地域おこしが取り組まれている。

- ・黒石市の中町などにみられる「こみせ」は、雁木とも呼ばれる伝統的な木造アーケードで、雪国独特の街並み景観である。近年、黒石市中町では、「こみせ」を核とした商店街活性化が取り組まれている。

< 海岸部の緑 >

- ・日本海につながる潟湖、十三湖は、幻の鳥オオセッカや、オオワシの生息地であり、渡り鳥飛来地としても重要な湿地である。また、中世の三津七湊のひとつとして栄えた十三湊遺跡もある。
- ・日本海側の海岸には、七里長浜の長い砂浜海岸がある。海岸沿いには、日本海から吹き込む冬の季節風から田畑を守るために藩政時代に植林された海岸防砂林が形作られている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生森林	世界遺産白神山地	
			(国立公園・国定公園) 十和田八幡平国立公園、津軽国定公園	
			(県立自然公園) 岩木高原、赤石溪流暗門の滝、黒石温泉郷、大鱈碓ヶ関	
			(県自然環境保全地域) 然ヶ岳(鱒ヶ沢町)、尾太岳(西目屋村)、屏風岩(相馬村)、四ツ滝山(三厩村・市浦村)、丸屋形岳(蟹田町・平館村)、座頭石(弘前市)	
			二次植生	ブナ・ミズナラ群落
			人工林	青森ヒバ(津軽地方の国有林など)
		高原湿原・湧水・滝		八甲田山湿原群、くろくまの滝(鱒ヶ沢町)
		鉱山(跡)		
		山村集落景観		
		峠・街道など		羽州街道 - 矢立峠越(碓ヶ関村～秋田県大館市)
平野部 ・盆地部	農業景観		廻堰大溜池と用水路(鶴田町)、津軽の林檎畑(板柳町)	
	農村集落景観		庭(つぼ)と生垣の集落(尾上町八幡崎)、藤枝の茅葺き集落(金木町)	
	湿原・湖沼等		十三湖・岩木川河口域、屏風山湿原池沼群、津軽平野湖沼群(廻堰溜池、狄ガ館溜池、砂沢溜池)、芦野池沼群県立自然公園、富田の清水(しっこ)(弘前市)、渾上の清水(平賀町)、冬の葦原(中里町)、十三湖景観(市浦村)	
	街並み景観・道		仲町武家町(弘前市)、中町こみせ通り(黒石市)、国道7号線バイパスの桜(弘前市)、駅前地区(弘前市)、	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		しろうお漁(蟹田町)	
	海岸林・海岸景観		海岸防災林(車力村)、屏風山黒松林(木造町)、七里長浜防砂林(市浦村)、津軽国定公園(津軽半島～秋田県境海岸線)	
歴史文化資源			亀ヶ岡遺跡(木造町)、石神遺跡(森田村)、垂柳遺跡(田舎館村)、十三湊遺跡、浪岡城跡(浪岡町)、弘前城跡(弘前市)	

(2) 秋田県

米代川流域

豊かな自然の緑と伝統ある木材産業の緑が調和した地域

白神山地や八幡平、森吉山などの山々の豊かな緑に囲まれた地域である。

秋田スギの木材産業が集積してきた地域であり、高度な伝統技術が伝えられている。

古くより栄えた鉱山の跡地が多く残る地でもあり、貴重な産業遺構や鉱山技術の集積がある。

能代平野の海岸には、季節風から田畑を守るために植林されてきた非常に大規模な防砂林があり、現在では貴重な景観資源となっている。

< 緑の骨格構造 >

- ・北部に白神山地、東部に八幡平を含む奥羽山脈、中央部に森吉山と太平山地を有する。地域の北西端には、カルデラ湖である十和田湖がある。
- ・これらの山地を水源とした米代川が西流し、北流してきた阿仁川と合流して日本海へと流れこんでいる。
- ・流域には、花輪、大館、鷹巣の盆地が分布し、河口部には能代平野が開けている。

< 山間部の緑 >

- ・白神山地の南麓一帯や、八幡平周辺、森吉山周辺などに、ブナを主とした原生林がよく残っている。森吉山のブナ林では、幻の鳥クマゲラが繁殖し、天然スギの巨木もみられる。
- ・八幡平などの標高 1000m を越える部分では、アオモリトドマツを主とする亜高山性針葉樹林、最上部には高山植物帯がみられる。また、八幡平では、湿原植生や雪田植生が発達している。
- ・植林地も多く、古くから木材産業の盛んな地域である。流域一帯に分布している秋田スギは、日本 3 大美林のひとつとして知られる伝統的な木材資源であり、現在でも高い市場価値を有する。
- ・鹿角市大湯には、縄文時代後期（約 4000 年前）の遺跡、環状列石がある。また、八幡平山麓には、多くの温泉資源がある。
- ・尾去沢、小坂、阿仁など古くから栄えてきた鉱山の跡地が多く残り、現在では、坑道や鉱山街が観光資源となっている。また、今日では、集積された鉱山技術を活用したリサイクル事業などが開始されている。
- ・森吉山麓の阿仁町は、マタギの里としても知られる。

< 平野部・盆地部の緑 >

- ・平野部には、水田を主とした多彩な作物の農業が営まれている。

< 海岸部の緑 >

- ・能代平野海岸部には、藩政時代から植林されてきた非常に大規模な海岸防砂林がある。近年では、公募により「風の松原」の愛称が付けられ、市民参加による松原の維持管理が展開されている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	世界遺産白神山地
			(国立公園・国定公園)十和田八幡平国立公園
			(県立自然公園)八森岩館、きみまち坂藤里峡、森吉山、田代岳
			(県自然環境保全地域)露熊山峡(阿仁町)、羽黒山(八森町)、鞍山風穴(鷹巣町)、小又風穴(森吉町)
			(県緑地環境保全地域)長木溪谷(大館市)、今泉(鷹巣町)
	(水源の森)白神山系水沢川源流の森(峰浜村)		
	二次植生	山地上部にブナ・ミズナラ群落、下部にコナラ群落	
人工林	秋田杉(米代川流域一帯)、矢立峠秋田杉林(大館市)、長木沢杉林(大館市)		
	高原湿原・湧水・滝	八幡平周辺湿原群、南八幡平山稜湿原群、田代岳湿地、七滝(小坂町)、茶釜の滝(鹿角市)、安の滝(阿仁町)	
	鉱山(跡)	尾去沢鉱山(鹿角市)、小坂鉱山(小坂町)、阿仁鉱山(阿仁町)	
	峠・街道など	発荷峠(鹿角市)、八幡平峠(鹿角市)	
平野部・盆地部	農業景観	山本町のじゅんさい採り	
	農村集落景観		
	湿原・湖沼	米代川河口湖沼群	
	街並み・道景観		
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	能代海岸防砂林	
歴史文化資源		大湯環状列石(鹿角市)、杉沢台遺跡、大館跡、檜山城跡	

雄物川流域および八郎潟周辺と男鹿半島

多彩な自然に囲まれ、「農」と城下町の歴史が香る地域

駒ヶ岳や栗駒山、田沢湖に代表される豊かな自然に囲まれた地域である。

広大な横手盆地や八郎潟干拓地では、稲作を主とした農業が盛んであり、散居村の集落や茅葺屋根の伝統的な農村集落が残っている。

大雄村のホップ畑などの新たな農業景観も特徴的である。

角館には、武家屋敷の街並みが残っており、多彩な歴史の香る地域でもある。海岸部には、独特な風土を有する男鹿半島の景観をみることができる。

< 緑の骨格構造 >

- ・東部に駒ヶ岳から栗駒山にいたる奥羽山脈、南部に神室山地、中央部に太平山地を有する。秋田平野の背後に屹立する太平山は古くからの信仰の山でもある。また、駒ヶ岳山麓にはカルデラ湖の田沢湖がある。
- ・これらの山地を水源とした雄物川が北流し、玉川と合流して北西に向かい日本海に流れ込んでいる。流域には、横手盆地、河口部には、秋田平野が広がっている。
- ・秋田平野の北には、広大な八郎潟の干拓地が広がり、その西側には、男鹿半島が日本海に突出している。

< 山間部の緑 >

- ・駒ヶ岳周辺や栗駒山周辺を中心に、脊梁をなす奥羽山脈沿いにブナの原生林がよく残っている。また、太平山にもブナの原生林が多くみられる。
- ・駒ヶ岳や栗駒山の高山植物、抱返り渓谷や真木真昼の渓谷や紅葉、田沢湖の景観など、多彩な自然に囲まれている。
- ・駒ヶ岳山麓の田沢湖高原や栗駒山西麓の皆瀬村、雄勝町、湯沢市に多くの温泉資源がある。

< 平野部・盆地部の緑 >

- ・横手盆地、秋田平野、八郎潟干拓地の平野部では、水田を主とした農業が盛んである。
- ・仙北町には、屋敷林を配した散居村の農村集落が残っている。また、五城目町北ノ又では、茅葺屋根の伝統的な農村集落をみることができる。
- ・大雄村の鳥海山を背景としたホップ畑の景観などの特徴的な農業景観をみることができる。
- ・横手市から仙北郡にかけての溜池群や、雄物川中流域から秋田平野にかけての湖沼に、湿原植生が多く分布している。また、八郎潟調整池などの湖沼は、オオハクチョウ、コハクチョウ、ヒシクイ、マガン、オナガカモなどの渡り鳥飛来地として重要である。
- ・角館の武家屋敷の街並みは、みちのくの小京都と呼ばれ、城下町の風情を今に伝えている。

< 海岸部の緑 >

- ・「なまはげ」で有名な男鹿半島では、日本海の荒波を受けて形作られた多くの海食崖や海食洞が連なる海岸景観をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(森林生態系保護地域) 栗駒山・朽ヶ森山周辺
			(国立公園・国定公園) 十和田八幡平国立公園、栗駒国定公園、男鹿国定公園
			(県立自然公園) 田沢湖抱返り、大平山、真木真昼
			(県自然環境保全地域) 保呂羽山(大森町)、外山(山内村)、番鳥森(河辺町)、金峰山(平鹿町)
			(水源の森) 大滝沢国有林(稲川町)、七滝水源かん養保安林(六郷町)
	二次植生	山地上部にブナ・ミズナラ群落、下部にコナラ群落	
	人工林		
	高原湿原・湧水・滝		栗駒山湿原群、和賀岳・朝日岳雪田、虎毛山湿地、苔沼、湯の台小方角沢の湿原(神岡町)、六郷湧水群(六郷町)、力水(湯沢市)
	鉱山(跡)		荒川鉱山、院内銀山
	峠・街道など		
平野部・盆地部	農業景観		ホップ畑と鳥海山(大雄村)、岩井川放牧地(東成瀬村)
	農村集落景観		仙北平野散村景観(仙北町)、北ノ又萱葺き集落(五城目町)
	湿原・湖沼		横手市～仙北郡一帯ため池群、雄物川中流域湖沼群、秋田平野湖沼群、八郎潟、仙北・平鹿地方の湧水群
	街並み・道景観		武家屋敷・シダレザクラ(角館町)、松杉並木(千畑町)、秋田広小路(秋田市)、角館町内町地区
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観		秋田海岸防砂林、男鹿国定公園
歴史文化資源			岩井堂洞窟(雄勝町)、払田柵跡(仙北町)、秋田城跡

子吉川流域

鳥海山を核として、高原と川と海、農の風景が一体となった地域

豊かな緑を有した霊峰・鳥海山を南に頂き、その山麓の高原や平野で多彩な農業や放牧などが行われている地域である。

鳥海山麓湿原群や海岸部の象潟の景観など、鳥海山を背景とした多彩で雄大な景観を有している。

< 緑の骨格構造 >

- ・南側に鳥海山と丁岳山地を有し、その山麓部には高原状の地形になっている。
- ・鳥海山を主な水源とした子吉川が北西に向けて流れ、河口部には狭い本庄平野が開けている。
- ・鳥海山は、東北地方第二の標高（2236m）を誇る独立峰である。山頂から海岸までの距離が短く、鳥海山、高原、日本海が一体となった景観構造を有した地域である。また、鳥海山は、古くからの信仰の山でもある。

< 山間部の緑 >

- ・鳥海山の山麓や丁岳を中心に、ブナの天然林が残されている。また、鳥海山の山頂部では、高山植物をみられる。
- ・鳥海山の豊かな樹林地を水源として、山麓には湿原や瀑布が多く分布している。

< 丘陵地・平野部・盆地部の緑 >

- ・多彩な農業が営まれている地域であり、東由利町土場沢などでは、小規模な水田を中心とした典型的な里山型山村をみることができる。
- ・ヤマユリの自生地として知られる南由利原や、仁賀保町などで、地域の資源を活かしたまちづくりが取り組まれている。
- ・象潟町では、水田に大小の島々が点在する独特な景観をみることができる。象潟は、かつて大小の島々が浮かぶ入り江状の潟であったが、文化元年（1804年）の大地震によって地盤が隆起し、陸地となったものであり、天然記念物に指定されている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(国立公園・国定公園) 鳥海国定公園 (県自然環境保全地域) 丁岳 (鳥海町) 親川 (本荘市) (県緑地環境保全地域) 石沢峡 (本荘市、東由利町)
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	鳥海山湿原群、鳥海山北麓湿地群、南由利原の湿原 (由利町) 冬師の湿原 (仁賀保町) 刈女木の湖沼・湿原 (羽後町) 法体の滝 (鳥海町)	
	鉱山(跡) 峠・街道など	北国街道 - 三崎山越 (象潟町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観		
	農村集落景観	土場沢の水田と集落(東由利町) 伊勢居地農業用水路(仁賀保町) 南由利原ゆりの里 (由利町)	
	湿原・湖沼	加田喜沼 (大内町)	
	街並み・道景観		
海岸部	漁村・漁業風景・港町	由利海岸波除け石垣 (仁賀保町)	
	海岸林・海岸景観		
歴史文化資源			

(3) 山形県

最上川流域

豊かな自然に囲まれて、多彩な農業と自然、歴史文化が一体となった地域

鳥海山、奥羽山脈、月山、朝日岳などの山々の豊かな自然に囲まれた地域である。

全国随一の稲作地帯である庄内平野をはじめ、果樹や花卉栽培、林業、畜産など、多様で特色ある農業が行われている。

散居集落などの伝統的な農家集落が数多く残っており、豊かな自然と一体となった農業が営まれてきた。

庄内平野の防砂林は、厳しい冬の季節風から田畑を守るために先人たちが植林してきたもので、現在でも地域の暮らしと産業を守るとともに貴重な緑地資源となっている。

< 緑の骨格構造 >

- ・東部に蔵王山、吾妻山を含む奥羽山脈、北部に鳥海山と丁岳山地、南部に飯豊山地を有し、三方を山々に囲まれている。また、中央部には、月山や朝日岳を含む出羽山地が走っている。
- ・これらの山々を水源として、広大な流域をもつ最上川が県全域を貫くように流れており、流域には、米沢、山形、新庄の各盆地が、河口部には庄内平野が開けている。
- ・各地域から眺めることができる独立峰である鳥海山、月山は、地域を象徴する景観資源である。ともに古くからの山岳信仰の地でもあり、とりわけ月山は羽黒山、湯殿山とあわせて出羽三山と呼ばれ、東北随一の山岳信仰の中心地である。

< 山間部の緑 >

- ・鳥海山周辺、丁岳山地から、月山、朝日山地、飯豊山にいたる出羽山地に、ブナの自然林がよく残っている。飯豊山、吾妻山、寒河江川・朝日川上流などにブナ林を主とした天然林の緑が残っている。
- ・また、神室山地から、船形山周辺、蔵王山、吾妻山にいたる奥羽山脈にも、ブナの自然林がよく残っている。
- ・鶴岡市の毛比神社社叢などにもブナ天然林が残されている。
- ・飯豊山、吾妻山、蔵王山、朝日山、月山、湯殿山などの山麓には、多くの湿原や遊水地が分布している。
- ・山地には、スギを主とした植林地も多く、丘陵地には果樹園が多くみられる。
- ・高畠町には、縄文時代の住居跡とみられる洞窟が多く残る。
- ・米沢市などの置賜地方に多くみられる「草木塔」は、草木から得られる恩恵に感謝し、伐り倒した草木の魂を供養するために立てられたもので、全国でも珍しい歴史遺産である。
- ・山間部から山麓、平野部、海岸部にいたるまで、全域に数多くの温泉が分布している。

< 平野部の緑 >

- ・飯豊町や長井市平野地区に屋敷林を配した茅葺屋根と白壁土蔵の散居集落が残存している。
- ・金山町には、「金山杉」を使った切妻屋根に白壁の伝統的な街並みが残されており、地域独自の「金山型住宅」の保護と活用に向けた取り組みが行われている。
- ・南陽市赤湯や大蔵村の棚田や、高瀬の紅花栽培、西藏王の放牧場など、特徴的な農業景観をみることが出来る。
- ・最上川の河口部や、鶴岡市の上池・下池などは、ハクチョウなどの渡来地となっている。

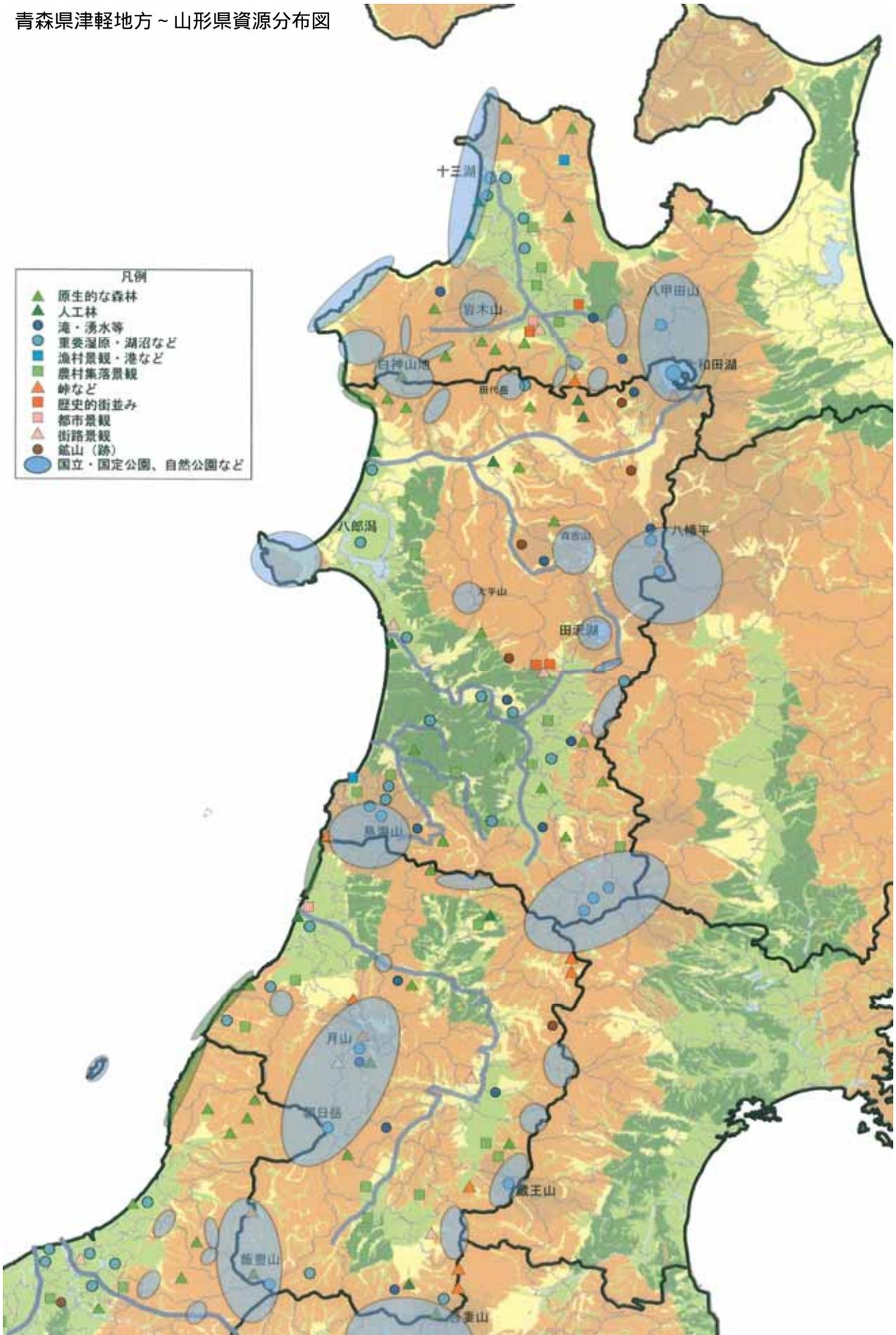
< 海岸部の緑 >

- ・庄内平野の海岸沿いには、日本海から吹き込む冬の季節風から田畑を守るために植林されてきたクロマツの海岸防砂林が形作られている。近年では、市民参加による海岸林の保全活動が展開されている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(森林生態系保護地域) 寒河江川・朝日川上流、飯豊山周辺、吾妻山周辺
			(国立公園・国定公園) 磐梯朝日国立公園、蔵王国定公園、鳥海国定公園
			(県立自然公園) 加無山、御所山、龍ヶ岳、天童高原、最上川渓谷
			(県自然環境保全地域) 今神山(戸沢村) ヌルマタ沢・野川(長井市・朝日町)、気比神社社叢(鶴岡市)、大沢川源流部(真室川町)
			(水源の森) 不動沢水源林(山形市)、月山行人清水の森(西川町)
	二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落、植林地	
人工林	金山杉(金山町)、奥羽本線関根一号林(米沢市)		
高原湿原・湧水・滝	飯豊連峰湿原群、吾妻山周辺湿原群、蔵王山周辺湿原群、朝日連峰湿原群、河島山麓堤群、月山・湯殿山湿原群、沼ノ口湿原(飯豊町)、月山山麓湧水群(西川町)、小見川湧水地帯(東根市)、滑川の大滝(米沢市大沢)、白糸の滝(戸沢村草薙)		
鉱山(跡)	延沢銀山遺跡		
峠・街道など	花立峠(最上町)、山刀伐峠(最上町)、米沢・福島街道 - 板谷峠越(小国町~新潟県関川村)、万世大路 - 栗子峠越(米沢市~福島県福島市)、羽州街道榎下宿(上山市)、出羽三山登拝道(羽黒町・朝日村)、羽黒山の杉並木(羽黒町)		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	赤湯棚田とぶどう畑(南陽市)、榎平棚田(朝日町)、大蔵棚田(山辺町)、四ヶ村棚田(大蔵村)、高瀬紅花(山形市)、西蔵王放牧場(山形市)、田川赤カブ栽培と焼き畑(鶴岡市)	
	農村集落景観	飯豊散居集落(飯豊町)、平野地区散居集落(長井市)、金山型住宅(金山町)、しな織の里関川集落(温海町)	
	湿原・湖沼	乱川扇状地湧水地(東根市・天童市)、最上川・赤川水系、最上川河口(酒田市)、上池・下池(鶴岡市)	
	街並み・道景観	河北町北口通り(河北町)、飯森山地区(酒田市)、まほろばの緑道シダレザクラ(高畠町)、国道112号線月山花笠ライン(西川町~朝日村)、旧鑑屋(酒田市)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	庄内平野防砂林、庄内海浜県立自然公園	
歴史文化資源			火箱岩洞窟・日向洞窟・大立洞窟(高畠町)、西沼田遺跡(6~7世紀の集落跡、天童市)、嶋遺跡(7~8世紀の住居群跡、山形市)、城輪柵跡、堂の前遺跡(平安中期、八幡町)、山形城跡、上山城跡、米沢城跡、草木塔(米沢市などの置賜地方中心)、三十三観音札所

青森県津軽地方～山形県資源分布図



(4)新潟県

阿賀野川・信濃川流域ほか東部地域

豊かな自然を背景として、広々とした田園が広がる地域

豊かな自然の緑を持った高い山々に囲まれた地域である。

全国有数の大河である阿賀野川、信濃川が流れる地域であり、流域には広大な平野が開かれている。

平野部の広々とした水田や稲架木の並木、丘陵地の棚田など、豊かな田園景観が残っている。

<緑の骨格構造>

- ・ 東北部に朝日山地、東北から南西にかけて県境沿いに飯豊山地、駒ヶ岳、苗場山などを含む急峻な越後山脈が連なっている。
- ・ これらの山地を貫いて、県境を越えて、荒川、阿賀野川、信濃川などの大河川が流れ、日本海に注いでいる。これらの河川の下流域には広大な越後平野が広がっている。また、信濃川中流域には、全国有数の河岸段丘が形成されている。
- ・ 地域の南西部では、米山を含む低山地が海に迫っている。この山地と海岸部の弥彦山を含む一体は、東頸城丘陵となっている。また、信濃川の東側には、魚沼丘陵の丘陵状の地形がみられる。
- ・ 信濃川流域には十日町盆地、その支流魚野川沿いには六日町盆地の小盆地が開けている。

<山間部の緑>

- ・ 朝日山地一帯から飯豊山周辺、白山、粟ヶ岳周辺から越後三山周辺の越後山脈沿いに、ブナの天然林がよく残っている。また、ブナ林の分布地より海拔の高い山岳地には、オオシラビソを主とする常緑針葉樹林や、ミヤマナラ等の落葉低木林が成立している。
- ・ 県環境保全地域では、朝日村の鳴海山や鈴ヶ滝、朝日スーパーライン沿いなどに、ブナの天然林がよく残っている。また、中里村の小松原にもオオシラビソやブナの天然林が残っている。新発田市の俣板倉山には、スギの天然林がみられる。

<丘陵部・平野部の緑>

- ・ 広大な平野では、水田を主とした田園景観が広がっている。
- ・ 下田村や山古志村など多くの地域に、棚田の集落景観が残っている。
- ・ 新津市などには、収穫した稲を乾燥させるのに用いる稲架木（はざぎ）並木をみることができる。稲架木には、主にトネリコやハンノキが用いられている。
- ・ 高柳町荻の島では、歴史を感じさせる茅葺曲がり家の集落をみることができる。
- ・ 福島潟や瓢湖、鳥屋野潟、佐潟など多くの潟湖が分布しており、コハクチョウ、ヒシクイ、マガモなどの渡り鳥の重要な飛来地となっている。

<海岸部の緑>

- ・ 出雲崎には、港町、宿場町の古い街並みが残っている。出雲崎は、佐渡との交流の玄関口であり、西回り航路の寄港地であるとともに、北国街道の宿場町としても栄えた街である。
- ・ 山地が山に迫っている地域では、笹川流れのような岩礁海岸、平野が開けている地域では、桃崎浜のような砂丘海岸がみられ、変化に富んだ海岸線を有している。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(国立公園) 磐梯朝日、日光、上信越高原
			(国定公園) 朝日越後三山只見、佐渡弥彦米山
			(県立自然公園) 胎内二王子、五頭連峰、阿賀野川ライン、奥早出栗守門、長岡東山山本山、魚沼連峰、米山福浦八景、直峰松之山大池、
			(県自然環境保全地域) 権現堂山・唐松山(広神村、守門村) 鉾ヶ岳・権現岳(糸魚川市・能生町) 宮久(黒川村) 鳴海山(朝日村) 小松原(中里村) 月山(上川村) 鈴ヶ滝(朝日村) とどの森(栃尾市) 裏巻機溪谷(六日町) 俎倉山(新発田市) 御神楽岳(上川村) 宝珠山(安田町) 明神岩(朝日村) 土井(上川村)
			(県緑地環境保全地域) 菖蒲塚(竹野町) 愛宕山(村松町) 大沢(柏崎市) 秋葉神社(青海町) 護摩堂(田上町・五泉市) 山王森(聖籠町) 長安寺(川西町) 定正院(長岡市)
			(水源の森) 朝日スーパーラインふるさとの森(朝日村)
	二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落	
	人工林		
	高原湿原・湧水・滝	苗場山周辺湿原(津南町・中里村・湯沢町) 尾瀬ヶ原・尾瀬沼(湯之谷村) 龍ヶ窪(湖沼・湧水)(津南町) とどの森湧水(栃尾市) 清津峡(津南町) 男池(小千谷市) 郡殿の池(小千谷市) 中峰の湿原(豊浦町)	
	鉱山(跡)		
	峠・街道など	鳥井峠(上川村)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	北五百川棚田(下田村) 山古志棚田(山古志村) 結束石垣田(津南町) 松之山棚田(松之山町) 蓮野棚田(大島村) 花坂棚田・梨ノ木田棚田・大開棚田(高柳町) 満願寺稲架木並木(新津市) 村岡じゅんさい採り(笹神村) 夏井稲架木並木(岩室村) 門田稲架木並木(中之口村)	
	農村集落景観	萩の島茅葺曲がり家集落(高柳町)	
	湿原・湖沼	福島潟・瓢湖(豊栄市)、水原(水原村・笹神村) 地本湧水(中条町) 信濃川および阿賀野川の最下流域、鳥屋野潟(新潟市)、佐潟(ラムサール条約登録湿地・新潟市)	
	街並み・道景観	メタセコイア並木(豊栄市朝日町) 国道 148 号糸魚川線(糸魚川市葛葉～根知) 松之山街道(安塚町・松代町・十日町市) 北国街道「出雲崎宿」妻入りの街並み(出雲崎町) 千秋が原地区(長岡市)	
	鉱山(跡)	新津市、柏崎市周辺の油田	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	瀬波笹川流れ粟島県立自然公園、桃崎浜砂丘(中条町) 佐渡弥彦米山国定公園、米山福浦八景県立自然公園	
歴史文化資源		小瀬ヶ沢洞窟、室谷洞窟、馬高・三十稲場遺跡、藤橋遺跡、村上城跡、平林城跡	

関川・姫川流域ほか西部地域

急峻な山地の豊かな緑に囲まれた地域
 木地屋集落や、ヒスイの産地など、地域特有の伝統的な資源を有している。
 親不知などの断崖絶壁の海岸景観を有している。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部に、妙高山地、西部に飛騨山脈を有し、非常に高い山地に囲まれた地域である。
- ・関川、姫川などの河川が北流し日本海に注ぎ、関川下流域には小規模な高田平野が開けている。
- ・飛騨山脈の北端が日本海になだれ込む親不知子不知は、険しい断崖絶壁の海岸となっている。

< 山間部の緑 >

- ・妙高山や飛騨山脈の山腹に、ブナの天然林が残っている。また、これらの山地の頂上部には、ハイマツなどの高山帯自然植生や、オオシラビソなどの亜高山帯植生もみられる。
- ・妙高の火打山には、ライチョウの生息が確認されている。
- ・青海町マイコミ平では、サワグルミ、スギ、ブナ等の天然林がみられる。
- ・糸魚川市には、白木のお碗などを作る職人が集まった「木地屋」の集落があり、現在、この木地屋の集落を保存し、活性化する地域づくりが取り組まれている。
- ・フォッサマグナ地域である姫川一帯は、古くからのヒスイの産地として知られる。

< 丘陵部・平野部の緑 >

- ・安塚町上船倉には、棚田の農業景観がみられる。
- ・朝日池、鶉の池は、ヒシクイなどの渡来地である。

< 海岸部の緑 >

- ・平野が開けている地域に砂浜海岸がみられる一方、親不知子不知では、非常に険しい断崖絶壁の海岸景観が形成されている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(国立公園) 上信越高原、中部山岳 (県立自然公園) 久比岐、白馬山麓 (県自然環境保全地域) 鉾ヶ岳・権現岳(能生町)、マイコミ平(青海町) (県緑地環境保全地域) 不動山(糸魚川市)、金山谷(青海町)
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落
		人工林	
		高原湿原・湧水・滝	妙高高原周辺湿原、苗名滝(妙高高原町)、惣滝(妙高村)
	峠・街道など	親不知・子不知(青海町)、松本・千国街道(糸魚川市～長野県白馬村・小谷村)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	上船倉棚田(安塚町)	
	農村集落景観	木地屋の里(糸魚川市)	
	湿原・湖沼	三和村ため池群、谷内池(三和村)、朝日池・鶉の池(大湯町)、柏崎沿岸(宮川～椎谷)	
	街並み・道景観		
	鉱山(跡)		
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	久比岐県立自然公園、親不知子不知県立自然公園	
歴史文化資源		宮口古墳群、水科古墳群、斐太遺跡、春日山城跡	

佐渡島

金山の歴史を宿す日本海に浮かぶ最大の島

地域の全体が自然公園地域に含まれており、豊かな山と海の自然を有している。

古くから金山で栄えた地であり、金山跡遺跡や、港町などの歴史遺産が残っている。

海岸部には、岩石海岸が続き、海食海岸の名所が多い。

< 緑の骨格構造 >

- ・日本海最大の島であり、北部の大佐渡山地、南部の小佐渡山地が、島嶼部には高い山地を形成している。また、両山地の間には、小規模な国仲平野が開けている。
- ・海岸部は、両津市付近を除いて、大部分が岩石海岸である。

< 山地部の緑 >

- ・山地は、主にブナ・ミズナラ林などの二次植生が中心である。
- ・古くから佐渡金山の栄えた地域として知られる。

< 丘陵部・平野部の緑 >

- ・国仲平野には、水田が多く開かれています。
- ・相川町の高瀬水田などの特徴的な集落景観がある。

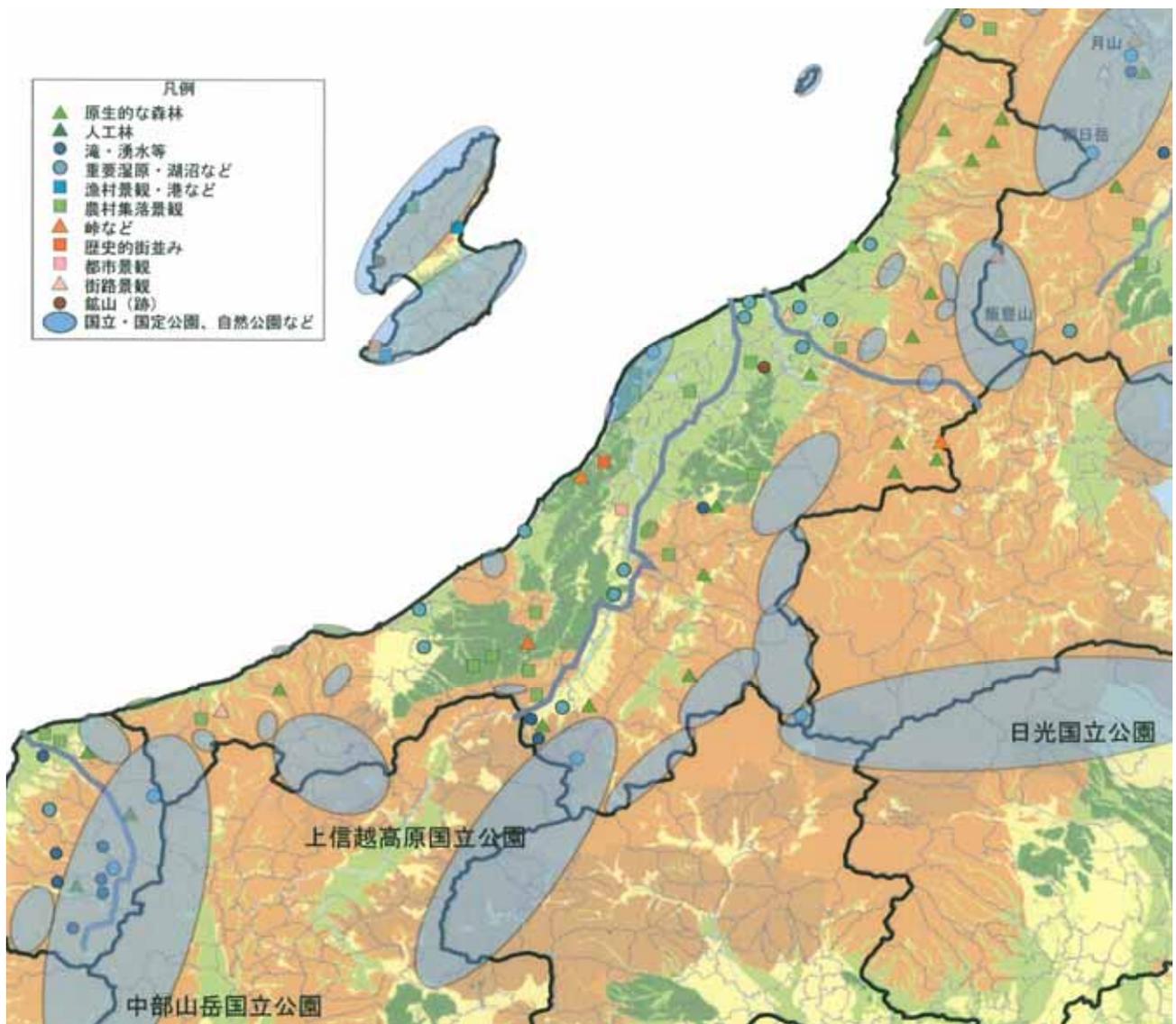
< 海岸部の緑 >

- ・宿根木は、古くから金の積み出し港として、また西回り航路の寄港地として栄えた港町で、現在でも往時をしのばせる街並みが残っている。
- ・海岸部には、岩石海岸が続き、奇岩怪礁の名所が多くみられる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	佐渡弥彦米山国定公園、小佐渡県立自然公園
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝		上の平の湖沼・湿原（佐渡市両津）
	鉱山(跡)		佐渡金山遺跡
	峠・街道など		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観		高瀬水田（相川）
	農村集落景観		
	湿原・湖沼		
	街並み・道景観		
海岸部	漁村・漁業風景・港町		加茂湖牡蠣養殖筏（両津） 宿根木港町（小木・伝統的建築物群保存地区）
	海岸林・海岸景観		平根崎波蝕罅穴群（相川） 佐渡小木海岸（小木） 佐渡弥彦米山国定公園、小佐渡県立自然公園

新潟県資源分布図



(5) 富山県

黒部川流域など東部地域

豊かな自然と水環境を背景とした、農村の歴史文化の残る地域

北アルプスの山々のダイナミックな景観と豊かな自然を有する地域である。

豊富な水資源を背景として、平野部には水田が広がっており、散居村などの歴史を感じさせる農村景観が残っている。

沢杉や埋没林など独特な自然景観をみることができる地域である。

< 緑の骨格構造 >

- ・ 東側県境の白馬岳、鏑ヶ岳、黒部川を挟んで剣岳、立山、薬師岳など、3000m級の山々よりなる北アルプスを有する地域である。
- ・ これらの山々を水源として、黒部川水系が、山地に深い峡谷を刻んで流れ、日本海に流れ込んでいる。河口部には富山平野が開けている。
- ・ 3000m級の立山連峰から、山際の台地、下流域の平野から日本海に至るまで、非常にダイナミックな地形を有する地域である。

< 山間部の緑 >

- ・ 流域の大半が、自然公園に指定されており、非常に自然度の高い地域である。山麓から山腹にかけては、ブナを主とした落葉広葉樹林が分布し、天然林も多く残っている。また、山地の上部には、オオシラビソなどの亜高山性針葉樹林、ハイマツなどの高山性樹林が分布している。2500m以上の山地には、高山植物のお花畑も分布している。
- ・ ツキノワグマ、カモシカ、ニホンザル、ライチョウ、イヌワシなどの貴重な生物が生息している。
- ・ 古くから立山登拝などの信仰登山の地であり、また、日本の近代登山発祥の地でもある。
- ・ 黒部峡谷、薬師岳圏谷群など、峡谷の名所が多い。

< 平野部・海岸部の緑 >

- ・ 黒部川扇状地では、散居村や霞堤、旧堤防跡などがみられ、度重なる洪水を背景とした土地改良の歴史を感じることができる。
- ・ 豊富な水資源を背景として、多くの湧水地がある。
- ・ 入善町の沢杉は、全国でも珍しい平地の湧水地の杉林で、萌芽性が強く伏状現象を示すことで知られている。天然記念物に指定されている。
- ・ 海岸部では、魚津の埋没林や屋気楼など、特異な自然現象をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	中部山岳国立公園 (県立自然公園)朝日(朝日町) (県自然環境保全地域)沢杉(入善町) 愛本(宇奈月町)
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落、植林地
		人工林	立山杉(立山町)
		高原湿原・湧水・滝	白馬岳周辺湿地群、立山周辺湿原群、立山山崎圏谷(立山町) 立山玉殿湧水(立山町) 黒部川峡谷附猿飛ならびに奥鐘山(立山町・宇奈月町) 薬師岳の圏谷群(大山町)
	鉱山(跡)		
	峠・街道など		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	舟見野用水(入善町)	
	農村集落景観	黒部川扇状地の散村・霞堤と水田・旧堤防跡(黒部市・入善町)	
	湿原・湖沼	黒部川扇状地湧水群(黒部市・入善町) 池の尻湖沼・湿原(魚津市)	
	街並み・道景観		
	鉱山(跡)		
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	魚津埋没林、ホタルイカ群遊海面	

常願寺川・神通川・庄川流域など西部地域

立山連峰の雄大な自然を背景に、歴史ある農村景観と豊かな富山湾の海が広がる地域

豊かな自然を有した山々に囲まれた地域である。

五箇山の合掌造り集落や、平野部の散居村など、歴史を感じさせる農村集落景観が残っている地域である。

富山湾の豊かな海に面し、大敷網などの伝統的な漁業景観が残る地域である。

< 緑の骨格構造 >

- ・東南部に 3000m級の山々が連なる立山連峰を有し、そこから発する常願寺川が西流し、大きく北に湾曲して、日本海に注いでいる。
- ・南側の岐阜県との県境も山地帯となっており、県境を越えて神通川、庄川などが、日本海へ流れこんでいる。流域には広々とした砺波平野、富山平野が開けている。また、西側にも低い山地と丘陵地があり、石川県との県境をなしている。

< 山間部の緑 >

- ・立山連峰西側の山地一帯に、ブナを主とした落葉広葉樹の天然林がよく残っている。また、立山連峰の上部には、オオシラビソなどの亜高山性針葉樹林、ハイマツなどの高山性樹林が分布している。2500m以上の山地には、高山植物もみられ、弥陀ヶ原などの高層湿原もみられる。
- ・称名滝は、日本一高低差の大きい瀑布として知られている。
- ・美女平の杉の自然林は、立山杉と呼ばれ、樹齢 1000 年以上の巨木をみることができる。
- ・山地の下部には、コナラなどの二次林や植林地もみられる。
- ・小矢部市の杉は宮島杉（ボカ杉）と呼ばれ、成長が早く柔らかいことで知られる。
- ・山間部には、世界文化遺産である平村、上平村の五箇山合掌造り集落がある。

< 丘陵部・平野部の緑 >

- ・砺波平野では、水田の広がる平野に屋敷林（カイニヨ）を配した農家が点在する典型的な散居村をみることができる。
- ・高岡市山町筋の商家町には、歴史を感じさせる土蔵造りの街並みが残されている。

< 海岸部の緑 >

- ・氷見市では、伝統的な漁法、大敷網をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	白山国立公園 (県立自然公園)有峰(大山町) 五箇山(平村・上平村) 白木水無(八尾町・利賀村・平村) 医王山(福光町) (県自然環境保全地域)東福寺(滑川市) 縄ヶ池・若杉(城端町) 神通峡(大沢野町・細入村) 深谷(八尾町) 山の神(利賀村) 日尾御前(八尾町) 常楽寺(婦中町) (水源の森)ありみね(大山町) 利賀ふれあいの森(利賀村) 赤祖父山のブナ林(井口村)
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落、植林地
		人工林	宮島杉(ボカ杉)(小矢部市)
	高原湿原・湧水・滝	深谷湧水地(八尾町) 称名滝(立山町芦峯寺) 穴の谷の霊水(上市町) 瓜裂の清水(庄川町) 谷内谷(利賀村)	
	鉱山(跡)		
	山村集落景観	相倉・菅沼合掌造りの集落(平村・上平村) 茅場と茅刈り風景(平村)	
	峠・街道など	白ヶ峰往来(氷見市～石川県志雄町) 石動山道(氷見市～石川県鹿島町) 北陸道-倶利伽羅峠越(小矢部市～石川県津幡町) 朴峠(城端町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	長坂棚田(氷見市) 三乗棚田(八尾町) 医王山麓の広瀬荘・水田景観(福光町) 菅田と菅干(福岡町)	
	農村集落景観	砺波平野の散村(砺波市)	
	湿原・湖沼	氷見市周辺河川・ため池群	
	街並み・道景観	市道牛島蜷川1号線ケヤキ500本(富山市) 県庁・市役所周辺地区(富山市) 高岡市山町筋の商家町、八丁道マツ並木(高岡市) 諏訪町本通り(八尾町) 国道304号(五箇山トンネル)(城端町～平村)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町	大敷網(氷見市)	
	海岸林・海岸景観	能登半島国定公園	

(6) 石川県

犀川・手取川ほか流域

白山の豊かな自然と雄大な砂浜海岸の間に豊かな歴史の香る地域

白山などの豊かな自然に囲まれた地域である。

手取川扇状地の水田景観や、金沢の城下町など、多彩な歴史が残っている。

非常に長い砂浜の海岸線を持った地域であり、海岸防砂林がみられる。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部一体に、白山を含む高い山地を有している。また、東側の富山県との県境の一部には、丘陵状の地形がみられる。
- ・南部の山地を水源として、犀川、手取川などの河川が流れ、日本海に注いでいる。海岸部には、北東から南西に向けて金沢平野が広がり、非常に長い砂浜海岸が続いている。

< 山間部の緑 >

- ・白山などの山麓部には、ブナの原生林がよく残っており、様々な野生動物の生息地となっている。
- ・白山の上部には、亜高山帯、高山帯の自然植生がみられ、また湿原や雪田草原が分布し、高山植物のお花畑がみられる。
- ・犀川源流部には、ブナの自然林やダケカンバ林などがみられ、イヌワシやツキノワグマなどの野生動物の生息地となっている
- ・山地の下部には、ブナ・ミズナラ林、コナラ林などの二次植生が主体である。

< 平野部・海岸部の緑 >

- ・手取川扇状地には、江戸時代から行われてきた灌漑・治水事業によって形成されてきた豊かな水田景観が広がっている。
- ・山中町東谷地区や小松市日用には、歴史を感じさせる農村集落景観が残っている。
- ・金沢市には、東山ひがしの茶屋町など、城下町の風情を残す街並みをみることができる。
- ・片野の鴨池は、マガンやトモエガモの渡来地であり、ラムサール条約に登録された重要湿地である。

< 海岸部の緑 >

- ・海岸部には、非常に長い砂浜海岸が形成されており、内灘砂丘などには、海岸防砂林をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	白山国立公園
			(県立自然公園) 医王山、白山一里野、獅子吼・手取、山中・大日山
			(県自然環境保全地域) 杉ノ水(山中町)、菊水(金沢市)、犀川源流(金沢市)、観音下(小松市)、鈴ヶ岳(小松市)
		(水源の森) 小原山(白峰村)	
	二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落	
	人工林		
	高原湿原・湧水・滝	白山の湿原・雪田草原、姥ヶ滝(吉野谷村)、弘法池の湧水(鳥越村)	
鉱山(跡)	尾小屋鉱山		
峠・街道など			
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	手取川扇状地の水田と七ヶ用水(鶴来町)	
	農村集落景観	東谷地区の集落景観(山中町)、日用の町並み(杉並木と民家)と「こけの里」(小松市)	
	湿原・湖沼	河北潟(金沢市・内灘町・津幡町・宇ノ気町)、能登半島西海岸(高松～河北海岸)、片野の鴨池(加賀市)	
	街並み・道景観	東山ひがし茶屋町(金沢市)、百間掘通りソメイヨシノなど(金沢市)、兼六園周辺文化ゾーン地区(金沢市)、広坂大通りマツ・サクラ(金沢市)、瑞樹団地地区(金沢市)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	八田の松林(松任市)、内灘砂丘(内灘町)、越前加賀海岸国定公園	

能登半島

歴史ある農林漁業が残る日本海最大の半島

里山タイプの自然が比較的残っており、地域特産の「能登アテ」の植林地もみられる。

棚田が多く残り、また「間垣」の集落など独特の集落景観が残っている。

定置網漁など、伝統的な漁業風景が残っている。

外浦の荒々しい海食景観と、内浦の柔和なリアス式海岸とからなる変化に富んだ海岸線を有する。

< 緑の骨格構造 >

- ・南東部には、石動山から宝達山にいたる低い山地があり、富山との県境をなしている。
- ・北部には、高洲山などを含む低い山地があり、その南側は、丘陵地になっている。
- ・七尾と羽咋の間には、比較的まとまった平地がみられる。
- ・海岸部は、日本海に面した外浦の荒々しい海食景観と、富山湾に面した内浦の穏やかな沈水景観とがコントラストを示している。

< 山地部の緑 >

- ・コナラやアカマツなどを主とした二次植生が大半を占めている。
- ・山地には、能登アテ（ヒノキアスナロ）を主とした植林地がみられる。アテは、もともと能登にはなく、奥州からもたらされたものといわれている。
- ・珠洲市打呂では、アテの天然林をみることができる。

< 丘陵部・平野部の緑 >

- ・珠洲市のガンの池、羽咋市の邑知潟などは、ガン、カモ類の飛来地として重要である。
- ・羽咋市などの低地湿原には、ホクリクサンショウウオの生息地がみられる。
- ・輪島市白米の千枚田や富来町の棚田など、多くの棚田が残されている。棚田と日本海が一体となった景観を楽しむことができる場所も多い。
- ・輪島市大沢など奥能登の外浦地域には、竹を仕立てて軒先よりも高く廻らせた「間垣」と呼ばれる垣根の集落がみられる。冬の厳しい季節風から暮らしを守るための、この地域独特の景観である。

< 海岸部の緑 >

- ・外浦では、海食崖がよく発達し、断崖や奇岩の名所が多い。内浦は多くの小湾をともなったりアス式海岸になっており、天然の良港が多い。
- ・北部の海岸の一部には、常緑広葉樹の自然林もみられる。特に、中島町唐島では、タブ林等の海洋性の常緑広葉樹林、カラタチバナの自生がみられる。
- ・珠洲市清水町の揚げ浜式塩田や、七尾市灘浦や百海の定置網漁など、歴史のある漁村風景が残されている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(県立自然公園) 碁石ヶ峰
			(県自然環境保全地域) 打呂(珠洲市)、唐島(中島町)
			(水源の森) 宝達山(押水町)
		二次植生	ブナ・ミズナラ群落、コナラ群落
	人工林	アテ(ヒノキアスナロ)	
	高原湿原・湧水・滝		
鉱山(跡)			
峠・街道など			
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	白米の千枚田(輪島市)、富来町の棚田、奥山田(津幡町)、大笹波水田(富来町)、百海の棚田(七尾市)	
	農村集落景観	志賀町のころ柿の集落景観、大沢の間垣(輪島市)	
	湿原・湖沼	ガンの池(珠洲市)、邑知瀉(羽咋市)、能登半島の低地湿原(羽咋市)、御手洗池(田鶴浜町)、古和秀水(門前町)	
	街並み・道景観	能登有料道路(金沢市粟崎~穴水町此木)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町	清水町の揚げ浜式塩田(珠洲市)、灘浦の定置網漁・百海の定置網漁(七尾市)、能登島半浦・石積防波堤(能登島町)	
	海岸林・海岸景観	曾々木海岸(輪島市)、能登半島国定公園	

(7) 福井県

九頭竜川、足羽川、日野川流域(嶺北地域)

海と山の自然に包まれ育まれた豊かな里地と里山

山地のブナなどの自然林が残る一方、里山タイプの緑が多く、サンショウウオの生息がみられる湧水地もあるなど、多彩な自然が残る地域である。

平野部の水田、丘陵地の棚田や花卉栽培など、多彩な農業が営まれている。

伝統的な農村集落や城下町など、趣深い歴史景観を有している。

< 緑の骨格構造 >

- ・南東部には、経ヶ岳から濃郷白山にいたる山々が連なり、両白山地を形成している。また、西部にも低い丹生山地が隆起している。これらの山地を水源とする九頭龍川、足羽川、日野川の各河川が合流して、日本海へと流れ込んでおり、流域には、大野盆地、河口部には、福井平野が開けている。
- ・海岸部は、三里浜砂丘などの砂浜海岸もあるが、大半の海岸線は、海岸段丘の発達した直線的な隆起海岸となっている。

< 山間部の緑 >

- ・経ヶ岳周辺や濃郷白山周辺など、県境付近山地にブナを主とした自然林が残っている。
- ・池田町檜俣でも、ブナ、モミジカラマツ等の天然林が分布している。
- ・山地には、主にブナ・ミズナラ林やコナラ林の二次植生が主である。
- ・丹生山地などの低山地には、主にコナラなどの二次林が分布しており、また、スギ、ヒノキなどの植林地も多い。
- ・平泉寺参道では、樹齢 1000 年に及ぶスギやブナの大木がみられる。

< 丘陵部・盆地部・平野部の緑 >

- ・大野盆地や福井平野に、水田を主とした田畑が広がっている。
- ・越前町や越廼村には、水仙畑が多く、越前海岸の丘陵から望む日本海と一体となった景観がみられる。また、越前町では、地域に残る棚田を活用した「水仙棚田オーナー制度」などのグリーンツーリズムの取り組みが行われている。
- ・武生市や大野市には、湧水が多く、特に武生市の湧水では、絶滅危惧種アベサンショウウオの生息が確認されている。
- ・福井市一乗谷朝倉氏遺跡では、ほぼ完全な形で復元された戦国期の城下町の街並みを見ることが出来る。
- ・大野市には、城下町の街並みが残っている。また、武生市の蔵の辻地区は、江戸期に関西から北陸への物資の中継基地として栄えた街で、蔵を再生利用したまちづくりが取り組まれている。

< 海岸部の緑 >

- ・東尋坊の崖壁は、世界でも珍しい輝石安山岩の柱状節理であり、勇壮な海食景観を呈している。
- ・丹生山地山裾の越前海岸の一部には、タブノキ、スダジイなどの照葉樹の自然林が分布している。
- ・三里浜砂丘には防風林が形成され、田畑や暮らしを守っている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	白山国立公園、奥越高原県立自然公園
			(県自然環境保全地域) 檜俣(池田町)
			(水源の森) 九頭竜国民休養の森(和泉村)
		二次植生	山地上部にブナ・ミズナラ群落、山地下部・低山地にコナラ群落
	人工林		
	高原湿原・湧水・滝		
鉱山(跡)			
峠・街道など	平泉寺参道・谷峠(勝山市)、白山禅定道(石川県尾口村～福井県勝山市～岐阜県白鳥町)、木の芽峠(今庄町二ツ屋)		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	梨子ヶ平棚田(越前町)、水仙畑(越廼村)、岸水町の棚田(福井市)、七里壁河岸段丘(勝山市)、赤カブラ畑(美山町)、ふくべ清水・平家平オウレン畑(大野市)	
	農村集落景観	切妻屋敷と真壁(宮崎村)	
	湿原・湖沼	お清水(しょうず)等大野市の湧水、武生市の湧水、北潟湖(金津町・芦原町)、龍双ヶ池(池田町大本)、九頭竜川下流域および流域湖沼	
	街並み・道景観	大野城下町地区(大野市)、蔵の辻地区(武生市)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	三里浜砂丘防風林とラッキョウ畑(福井市・三国町)、東尋坊(三国町)、越前加賀海岸国定公園	
歴史文化遺産		兜山古墳、王山古墳群、六呂瀬山古墳群、手繰ヶ城山古墳、杣山城跡、白山平泉城跡、一乗谷朝倉氏遺跡	

複数の小河川流域（嶺南地域）

若狭湾の豊かな海に育まれた歴史ある地域
 若狭湾の変化に富んだ海岸線を有し、多くの豊かな湾や入り江を持つ。
 若狭街道熊川宿など、歴史のある街並みが残っている。

< 緑の骨格構造 >

- ・野坂山地の低い山地によって占められており、海岸部は、入り江や湾が交互に並ぶ典型的なリアス式海岸を呈している。
- ・複数の小河川が日本海に流れ込んでおり、その河口部に、敦賀、美浜、小浜などの小さな平野と湾が形成されている。

< 山地・丘陵地の緑 >

- ・山地には、主にアカマツ、コナラなどの二次植生が分布している。県境の山頂部には、ブナ・ミズナラ林もみられる。
- ・ハヶ峰水源の森は、ブナやクヌギの原生林と人工林よりなる森で、良質の水を供給している。
- ・海岸の一部には、海岸性の自然林も分布している。
- ・高浜町日引では、千枚田と呼ばれる棚田の農業景観をみることができる。
- ・若狭と京を結んでいた若狭街道（鯖街道）の熊川宿には、歴史を感じさせる紅殻塗の家並みと用水路が残されている。
- ・敦賀市中池見では、水田や休耕田などに、多くの希少水生植物の生育がみられ、ハッチョウトンボなどの昆虫類も生息している

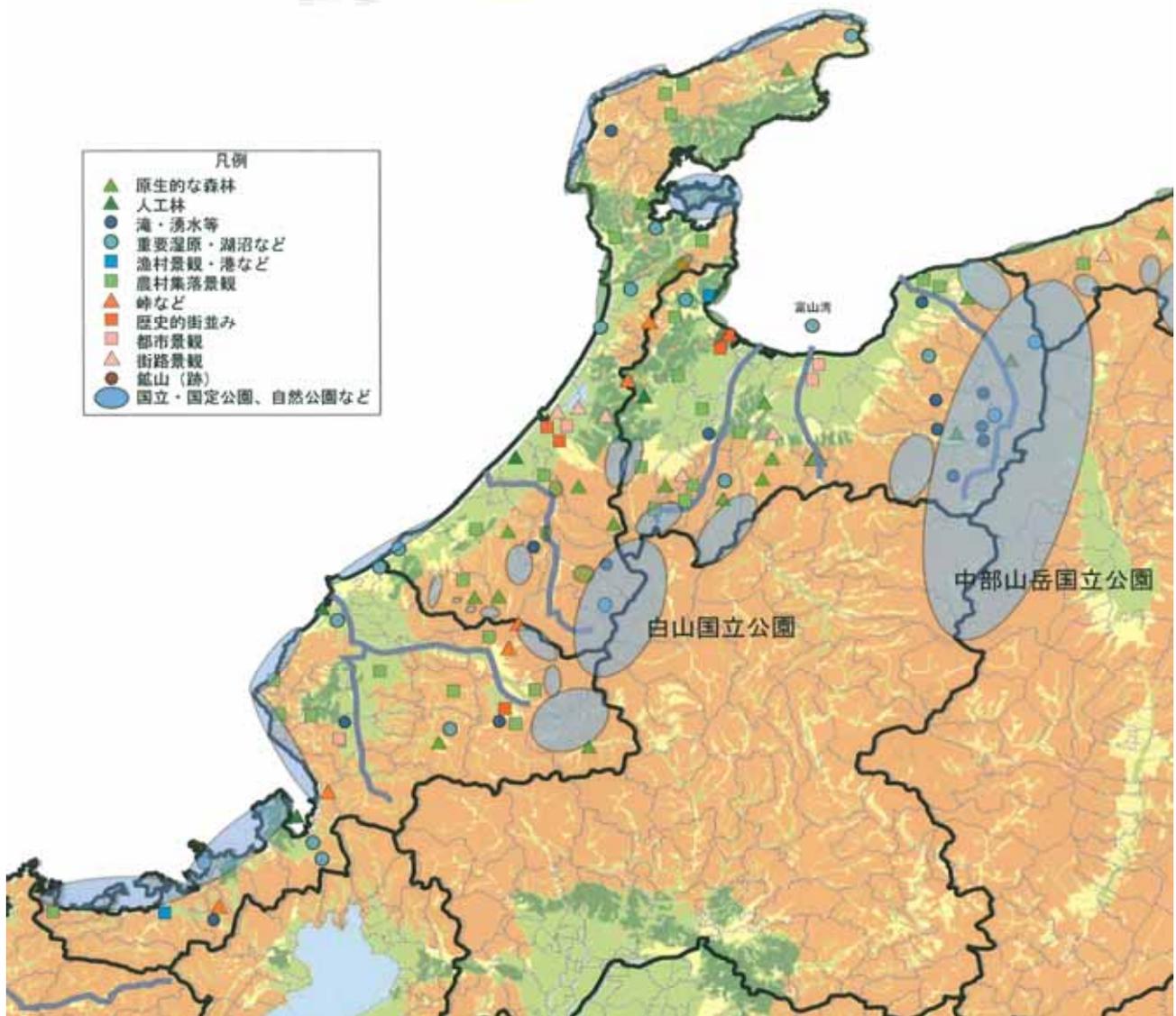
< 海岸部の緑 >

- ・複雑な入り江を有する沈降海岸が発達した典型的なリアス式海岸がみられ、多くの断崖、洞門、洞窟、岩礁などをみることができる。
- ・毛比の松原は、日本三大松原のひとつといわれ、クロマツなどが生い茂る白砂青松の景観をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	（水源の森）ハヶ峰水源の森（名田庄村） 上根来水源の森（小浜市）
		二次植生	アカマツ群落、コナラ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	瓜割ノ滝（上中町） 鷺の瀬（名水（小浜市）	
	鉦山（跡）		
丘陵地・平野部・盆地部	峠・街道	北陸道 - 木ノ目峠越・湯尾峠越（敦賀市・今庄町） 若狭街道（鯖街道）「熊川宿」（上中町）	
	農業景観	日引の千枚田（高浜町）	
	農村集落景観		
	湿原・湖沼	三方五湖、池ノ河内湿原・中池見（敦賀市）	
海岸部	街並み・道景観	熊川宿宿場町（上中町） 三方五湖周遊道路（三方町）	
	漁村・漁業風景・港町	南川のいさざ漁（小浜市）	
	海岸林・海岸景観	毛比の松原（敦賀市） 若狭湾国定公園	
歴史文化資源		上船塚古墳、西塚古墳、岡津製塩遺跡	

富山県～福井県資源分布図



(8) 京都府丹後地域

由良川など小河川流域

豊かな海と里地・里山が一体となった地域

地域の大半が低い山地で形成されており、里山タイプの緑が比較的よく残っている。

自然と一体になった棚田の農業景観をみることができる。

多くの湾や入り江を有する海岸部には、伊根の舟屋など伝統的な漁村景観が残っている。

< 緑の骨格構造 >

- ・ 地域の大半が低い山地によって占められている。まとまった平地は少なく、由良川などの河川沿いに狭い平地があるほか、海岸部の湾の奥などに、舞鶴、宮津、丹後半島の網野、久美浜などの狭小な平地が形成されている。
- ・ 山地が海に迫っており、海岸部は、変化に富んだリアス式海岸となっている。

< 山地部・丘陵部・平地部の緑 >

- ・ 山地の植生は、アカマツ、コナラを主としたヤブツバキクラス域の代償植生が大半である。
- ・ 大江山周辺や、丹後半島の太鼓山周辺には、ブナクラス域代償植生のクリ - ミズナラ群落やブナ - ミズナラ群落もみられる。
- ・ 丹後上世屋内山では、ヒメアオキ - ブナ群集やチャボガヤ - アカシデ群落のほか、ブナの大木が点在するなど優れた自然がみられる。
- ・ 低山地の湧水域にアベサンショウウオの生息がみられるなど、比較的人里近くに、優れた自然環境が残っている。
- ・ 大江町毛原や伊根町新井、丹後町袖志では、優れた棚田の景観をみることができる。

< 海岸部の緑 >

- ・ 丹後半島には、伊根独特の漁村建築である舟屋や、間人海岸の漁火、久美浜湾の牡蠣棚など、伝統的な漁村景観が残っている。
- ・ 舞鶴市には、近代以降の歴史遺産である赤レンガの建築物群が残されている。
- ・ 天橋立は、日本三景のひとつに数えられる白砂青松の砂州である。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(府自然環境保全地域)丹後上世屋内山(宮津市・大宮町) (水源の森)与保呂(舞鶴市)
		二次植生	アカマツ群落、コナラ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	丹後地方低山地湧水域アベサンショウウオ生息地(大宮町・峰山町・網野町・弥栄町・野田川町)、金引の滝(宮津市滝場)、大フケ湿原およびその周辺湿地(宮津市)	
	鉱山(跡)		
	峠・街道など	宮津街道(宮津市・大江町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	新井の千枚田(伊根町)、袖志の棚田(丹後町)、加悦谷の水田景観(加悦町)、毛原の棚田(大江町)	
	農村集落景観		
	湿原・湖沼	磯清水(宮津市文殊)	
	街並み・道景観	赤煉瓦みなと地区(舞鶴市)	
	鉱山(跡)		
海岸部	漁村・漁業風景・港町	伊根の舟屋(伊根町)、間人海岸と漁火(丹後町)、久美浜湾内牡蠣棚(久美浜町)	
	海岸林・海岸景観	天橋立(宮津市)、山陰海岸国立公園、若狭湾国定公園	
歴史文化資源		蛭子山古墳、作山古墳、函石浜遺物包含地、銚子山古墳、産土山古墳、神明山古墳	

(9) 兵庫県但馬地域

円山川流域・矢田川流域ほか

豊かな里山と多彩な歴史が香る地域

地域の大半が山地で形成されており、里山タイプの緑が比較的良好に残っている。

棚田や葦焼きなど、伝統的な農業景観をみることができる。

城下町や鉱山の跡地など、多彩な歴史資源をもった地域である。

< 緑の骨格構造 >

- ・ 地域の大半が山地によって占められており、まとまった平地は少ない。
- ・ 西側の鳥取県との県境には、扇ノ山、氷ノ山などの比較的高い山地が形成されている。
- ・ これらの山地を水源として、円山川をはじめ、竹野川、矢田川、岸田川などが日本海に注いでおり、円山川流域に豊岡盆地が形成されている。また、小河川沿いや湾の奥に狭小な平地が形成されている。
- ・ 山地が海に迫っており、海岸部は、変化に富んだリアス式海岸となっている。

< 山地部・丘陵部の緑 >

- ・ 山地の植生は、アカマツ、コナラを主とした二次林と、スギ、ヒノキ等の人工林が大半である。
- ・ 氷ノ山は、日本海気候と瀬戸内気候の接点地帯にあたり、ブナの自然林や、針葉樹と広葉樹が混交した豊かな自然をみることができる。
- ・ 低山地の湧水域にアベサンショウウオの生息地がみられるなど、豊かな自然が残っている。
- ・ 円山川河辺のヨシ群落は、昆虫や貴重な植物種の生息地となっている。また、城崎町戸島では、芦焼きなどの伝統的な風景をみることできる。
- ・ 兵庫県但馬地域は、コウノトリが日本で最後まで生息していた地として知られている。近年では、コウノトリの野生復帰をひとつの目標として、自然環境を保全し、自然と共生する地域づくりの取り組みが行われている。
- ・ 但馬地方随一の城下町であった出石町には、江戸期の風情を残す街並みが残っている。
- ・ 日本を代表する銀山のひとつだった生野鉱山や、明治以降、日本一の錫の鉱山として栄えた明延鉱山の跡が残っている。

< 海岸部の緑 >

- ・ 海岸線は複雑に変化するリアス式海岸で、但馬御火浦などでは断崖や海食洞の海岸景観をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	氷ノ山後山那岐山国定公園
			(県立自然公園) 赤来群山、音水ちくさ、但馬山岳、出石糸井 (県自然環境保全地域) 米地川(養父町)
		二次植生	アカマツ群落、コナラ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地(日高町・豊岡市) 猿尾滝(村岡町) 天滝(大屋町) 岸田川支流の最上流域(温泉町)	
	鉱山(跡)	明延鉱山、生野鉱山	
	峠・街道など	山陰道 - 蒲生峠越(温泉町～鳥取県岩美町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	和佐父西ヶ岡の棚田(村岡町) 蓼川井堰(日高町)	
	農村集落景観		
	湿原・湖沼	円山川河辺ヨシ群落(城崎町・豊岡市) 戸島の葦原と葦焼き(城崎町)	
	街並み・道景観	城下町(出石町)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町		
	海岸林・海岸景観	但馬御火浦(浜坂町・香住町) 山陰海岸国立公園	
歴史文化遺産			但馬国分寺跡、八木城跡、竹田城跡、出石城跡

京都府丹後地域～兵庫県但馬地域資源分布図



(10) 鳥取県

千代川、天神川、日野川各流域

海と山の多彩な自然と人々の暮らしの自然が一体となった地域

中国山地や大山、氷ノ山などの豊かな自然に囲まれた地域である。

山々を背景とした棚田の農業景観、伝統的な林業、湖沼における伝統的な漁業など、自然と一体となった人々の暮らしが残っている。

鳥取砂丘や弓ヶ浜の雄大な砂浜海岸、浦富海岸の複雑な断崖や奇岩など、多彩な海岸線をみることができる。

弓ヶ浜では、厳しい冬の季節風から田畑を守るための海岸防砂林が形成されている。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部に中国山地の比較的低い山々が連なり、東部には氷ノ山、西部には大山を有している。これらの山々を水源とする千代川、天神川、日野川の各河川が日本海に流れ込んでおり、その流域には、丘陵地と、鳥取、倉吉、米子の小規模な平野が開けている。
- ・独立峰、大山は、地域を象徴する景観資源であり、古くからの信仰の山でもある。
- ・海岸線は、日本最大の規模を誇る鳥取砂丘、白兔海岸、弓ヶ浜などのなだらかな砂浜海岸と、浦富海岸などのリアス式海岸よりなる。

< 山間部の緑 >

- ・山地の大半は、コナラやアカマツなどの二次植生と人工林で構成されている。
- ・氷ノ山のブナ林、大山のダイセンキャラボク純林やブナ林など、山地の所々には、自然林が残っている。
- ・鳥取市香取のシイノキを主とした常緑広葉樹林、鹿野町鹿野河内のスタジイ、ウラジロガシ、タブノキ、カゴノキ等の巨木を有する天然林など、ヤブツバキクラス域に特徴的な自然の森が多く分布している。
- ・智頭町は、古くから杉を主体とした林業の盛んな地として知られる。杉神社は全国でも珍しい杉の精霊を祭る神社である。また、同町の坂井原集落には茅葺屋根の山村集落景観が残っている。

< 丘陵地・平野部の緑 >

- ・扇ノ山を背景とした国府町上地の棚田や、氷ノ山を背景とした若桜町つく米の棚田など、雄大な自然と一体となった農業景観をみることができる。
- ・東郷町の梨の花や、関金町小泉のわさび田など、特色ある農業景観をみることができる。
- ・東郷湖のシジミ漁などの特徴的な漁業風景がある。湖山池の石がま漁は、池の中に大小の石を積み上げた石組みを用いたこの地域独特の漁法である。

< 海岸部の緑 >

- ・風が吹くたびに刻々と表情を変える風紋の美しい鳥取砂丘、砂浜海岸と海食地形が交互する浦富海岸など、多彩な海岸線を有する。
- ・多くの温泉資源が分布しており、海岸近くにも温泉が多い。
- ・弓ヶ浜には、日本海から吹き込む冬の季節風から暮らしを守るために植林されてきたクロマツの海岸防砂林が形作られている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(森林生態系保護地域) 大山
			(国立公園・国定公園) 大山隠岐国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園、比婆道後帝釈国定公園
			(県立自然公園) 西因幡、三朝東郷湖、奥日野、
			(県自然環境保全地域) 香取(鳥取市) 松上(鳥取市) 洗足山(用瀬町) 北村権現(河原町) 気高殿(気高町) 鹿野河内(鹿野町) 笏賀(三朝町) 馬場(西伯町)
		(水源の森) 芦津水辺の森(智頭町) 出立山町民の森(日南町)	
	二次植生	アカマツ群落、コナラ群落	
	人工林	智頭の杉林(智頭町)	
	高原湿原・湧水・滝	雨滝(国府町) 大山滝(東伯町)	
鉱山(跡)			
山村集落景観	板井原集落(智頭町)		
峠・街道など	智頭往来 - 志度坂峠越(智頭町~岡山県西粟倉村) 大山道路(大山町) 四十四曲峠(江府町) 横手道(大山町~岡山県久世町、湯原町) 大山道 - 川床道(大山町・中山町・東伯町・関金町) 鍵掛峠(江府町)		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	扇ノ山と上地の棚田(国府町) つく米の棚田と氷ノ山の山並み(若桜町) 河合谷高原放牧場(国府町) 東郷池の梨の花(東郷町) 大原千町の農業風景(岸本町) 穴鴨の石垣の棚田(三朝町) 小泉のわさび田(関金町) 陰田地区堤群(米子市)	
	農村集落景観	高井谷の湧水と農村風景(淀江町)	
	湿原・湖沼	菅野(国府町) 唐川(岩美町) 原池(泊村) 神戸上湿地(日南町) 天の真名井湧水(淀江町) 高井谷湧水群(淀江町)	
	街並み・道景観	鳥取本通り(若桜街道)(鳥取市) 鳥取新都心若葉台地区(鳥取市) シュロ並木(羽合町) 打吹玉川商家町(倉吉市) ときめきラインの松並木(大山町) 皆生温泉周辺地区(米子市)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町	湖山池の石がま漁(鳥取市) 東郷湖のシジミ漁(羽合町)	
	海岸林・海岸景観	浦富海岸(岩美町) 鳥取砂丘(鳥取市・福部町) 弓ヶ浜の黒松防風林(米子市・境港市) 山陰海岸国立公園	
歴史文化資源			

(11) 島根県

斐伊川流域

宍道湖・中海を核として、海と山の間に豊かな歴史を育んできた地域

豊かな自然を有する宍道湖と中海は、この地域の象徴する湖である。

古代出雲の遺跡から、たたら製鉄、近世の城下町や港町にいたるまで、豊かな歴史資源を有した地域である。

中国山地の濃い緑を背景として、「築地松」の散居村や棚田などの豊かな田園を有している。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部に中国山地の比較的低い山々が連なり、これらの山々を水源とする斐伊川水系が宍道湖へと流れ込んでいる。斐伊川河口部には、出雲平野の比較的小規模な平野が開けている。
- ・宍道湖の南側一帯は、丘陵状の地形になっている。
- ・宍道湖の北側には、島根半島が低い山地をなしており、海岸は変化に富んだりアス式海岸である。

< 山間部の緑 >

- ・潜在的には、シイ・カシ林等の常緑広葉樹林帯にあたる地域であるが、現在は、アカマツ、コナラなどの2次林が植生の大半を占めている。
- ・国定公園に含まれる船通山の山頂草原にカタクリの群生、山腹にブナ林、吾妻山に高山植物などがみられる。
- ・鬼の舌震溪谷などの渓谷や滝の名所が多くある。
- ・中国山地は、古くから「たたら製鉄」が栄えた地域であり、特に斐伊川上流域一帯は、その中心地である。
- ・中山間部の横田町や大東町に、棚田の農業景観が残っている。

< 平野部の緑 >

- ・汽水湖である宍道湖と中海は、豊かな魚介類を有するとともに、地域を象徴する景観資源でもある。また、コハクチョウやマガンの最南端渡来地でもある。
- ・出雲平野には、散居村の農村景観がみられ、とりわけクロマツを整然と刈り込んで生垣のように仕立てた「築地松」が特徴的である。
- ・遺跡や古墳、出雲大社に代表される神社など、出雲神話の時代をしのばせる歴史遺産が多くみられる。
- ・松江城周辺には、塩見縄手など城下町の面影を残す街並みが残されている。
- ・玉造温泉など、温泉資源も豊富である。

< 海岸部の緑 >

- ・島根半島の沈水・隆起海岸では、日本海の手食によってできた断崖や「多古の七ツ穴」などの海食洞窟をみることができる。
- ・美保関の青石畳通りは、北前船の寄港地として栄えた港町の風情を伝えている。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	比婆道後帝釈国定公園 (県立自然公園) 宍道湖北山、龍頭八重滝、立久恵峡、鬼の舌震、清水月山 (水源の森) 玉峰山(仁多町)、八川(横田町) (県自然環境保全地域) 赤名湿地性植物群落(赤来町)、西谷川オオサンショウウオ繁殖地(広瀬町)、女亀山(赤来町)	
			二次植生	アカマツ群落、コナラ群落
			人工林	
	高原湿原・湧水・滝			
	鉱山(跡)	たたら製鉄		
	峠・街道など	広瀬・清水街道(広瀬町・安来市)、赤名峠(赤来町)		
	丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	大原新田の棚田(横田町)、山王寺の棚田(大東町)	
農村集落景観		出雲平野の築地松散居集落、潜水橋(三刀屋町)		
湿原・湖沼		宍道湖、中海		
街並み・道景観		松江城周辺地区(松江市)、塩見縄手の松並木(松江市)、みゆきの道(出雲市)、チェリーロード(島根町)		
海岸部	漁村・漁業風景・港町	宍道湖のシジミ漁等、神西湖のシジミ漁など漁撈風景(湖陵町)、青石畳通り(美保関町)、小伊津の漁村集落(平田市)		
	海岸林・海岸景観	潜戸(島根町)、多古の七ツ穴(島根町)、大山隠岐国立公園(島根半島)		
歴史文化資源		出雲大社、山代二子塚、荒神谷遺跡、西谷古墳群、加茂岩倉遺跡		

江の川、高津川などの流域

海と山の自然、それらをつなぐ川の自然と一体となった豊かな歴史をもった地域

海に迫る丘陵地に点在する棚田や、石州瓦の集落など特有の農村景観を有している。

江の川、高津川には、雄大な河川景観と一体となった伝統漁法が残っている。

石見銀山遺跡や城下町津和野など、地域特有の歴史資源を有している。

長い海岸線には、奇岩奇勝の岩石海岸と白砂青松の砂浜とが並ぶ。

< 緑の骨格構造 >

- ・南部に中国山地の比較的低い山々が連なり、これらの山々を水源とする江の川、高津川などの河川が日本海に流れ込んでいる。
- ・地域の大半が、山地と丘陵地で占められており、丘陵地が海の近くまで迫っている。平地は非常に少ない。
- ・長い海岸線には、リアス式海岸と、三里ヶ浜のような砂浜海岸とが並んでいる。

< 山地部の緑 >

- ・アカマツ、コナラなどの2次林が植生の大半を占めている。
- ・三瓶山の山頂には、ブナ林、その下方には、ナラ、シデなどの自然林がみられる。また、コガラなどの鳥類や昆虫類の宝庫でもある。
- ・江の川流域の千丈溪や断魚溪、西部冠山山地の匹見峡など、溪谷の名所が多い。

< 丘陵部の緑 >

- ・羽須美村神谷、旭町都川などに、多くの棚田の景観が残っている。
- ・山間に点在する小集落の多くで、地域特有の赤い色調を持つ石州瓦が使われており、独特な集落景観をみることができる。
- ・古くから石見銀山が栄えた地として知られ、大森銀山鉾山街など、独特な街並みがみられる。
- ・津和野は、山陰の小京都とも呼ばれ、城下町の風情のある街並みが残っている。
- ・江の川、高津川は、アユなどの川の恵みが豊富で、大和村の火振漁（江の川）といった伝統的な漁法が残されている。

< 海岸部の緑 >

- ・海岸線は、石見豊ヶ浦などの岩石海岸の名所とともに、三里ヶ浜などの砂丘海岸も多く、変化に富んでいる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(国立公園・国定公園) 大山隠岐国立公園(三瓶山) 西中国山地国定公園
			(県立自然公園) 江川水系、千丈溪、断魚溪・観音滝、浜田海岸、蟠竜湖、青野山
			(県自然環境保全地域) 六日市コウヤマキ自生林(六日市町)
		二次植生	アカマツ群落、コナラ群落
		人工林	
		高原湿原・湧水・滝	
		鉱山(跡)	石見銀山遺跡(大田市)
	峠・街道など	石見銀山街道降路坂道(温泉津町・大田市)、石見銀山街道やなしお道(邑智町)、乙女峠(津和野町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	神谷の棚田(羽須美村)、旭豊梨の里(旭町)、都川の棚田(旭町)、中垣内の棚田(益田市)、室谷の棚田(三隅町)、大井谷の棚田(柿木町)、出羽盆地河岸段丘(瑞穂町)	
	農村集落景観	戸田柿本神社周辺農村(益田市)	
	湿原・湖沼		
	街並み・道景観	大森銀山鉱山町(大田市)、石見銀山街道(大田市、温泉津町)、津和野町後田地区	
海岸部	漁村・漁業風景・港町	江の川の鮎漁等、高津川のアユ釣り(益田市)	
	海岸林・海岸景観	石見畳ヶ浦(浜田市)、唐音の蛇岩(益田市)、三隅海岸海浜植物(三隅町)	
歴史文化遺産		石見国分寺跡、周布古墳、津和野城跡	

隠岐

貴重な自然と、伝統的な農業・漁業の営み、独特の習俗が一体となった島
 海洋性気候による特有の植生を有した島々である。
 地域特有の伝統的な農業、漁業景観を有している。
 海岸には、奇岩や絶壁など多くの景勝地がある。

< 緑の骨格構造 >

- ・ 主要な 4 つの島と無数の小島によりなる火山島である。
- ・ 海岸は、複雑に入り組んだリアス式海岸で、海食崖や海食洞などが多くみられる。

< 山間部・丘陵部の緑 >

- ・ 対馬暖流とリマン寒流の影響を受けた海洋性気候により、暖地性と寒地性の植物が入り混じった貴重な植生を有する。
- ・ 高尾山には、ウラジロカシ、シラカシ、ヤブツバキ等の暖地性常緑広葉樹林がみられる。
- ・ オキシクナゲ、サイゴクミツバツツジなどの特徴的な植物がみられ、ナゴランなどの希少植物も自生している。
- ・ 五箇村久見や都万村那久、油井などに、独特な防風垣根がみられる。
- ・ 嶽山山麓の放牧地など、特徴的な農業景観がある。
- ・ 後鳥羽上皇、後醍醐天皇ゆかりの史跡がある。

< 海岸部の緑 >

- ・ 釜屋、卯敷の船小屋など、独特な漁村集落が残っている。
- ・ 海食によって形成された断崖や奇岩、多くの小島よりなる海岸景観をみることができる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	(県自然環境保全地域)オキシクナゲ自生地(西郷町・布施村)
		二次植生	カシ林
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	天川の水(海士町) 壇鏡の滝湧水(都万村) 壇鏡の滝(都万村)	
	鉱山(跡) 峠・街道など		
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	嶽山山麓放牧地、知夫里島牧畑、赤八ゲ名垣	
	農村集落景観	久見の防風垣根(五箇村) 那久・油井の防風垣根(都万村)	
	湿原・湖沼		
	街並み・道景観		
海岸部	漁村・漁業風景・港町	釜屋の船小屋群と高田山、卯敷の船小屋群	
	海岸林・海岸景観	隠岐知夫赤壁(知夫村) 隠岐国賀海岸(西ノ島町) 隠岐白島海岸(西郷町) 大山隠岐国立公園	
歴史文化遺産		黒木御所跡	

(12) 山口県長門地域

阿武川ほか小河川流域

海と里地・里山、歴史ある街並みが一体となった地域

海に迫った丘陵地に、棚田が残る農村集落が点在し、海と里とが一体となった景観がみられる。

萩などを中心に、多くの歴史を感じさせる街並みが残っている。

複雑なリアス式海岸には、多くの断崖や奇岩の名所があり、日本海に浮かぶ多くの小島とあいまって、独特の海岸景観をみることができる。

< 緑の骨格構造 >

- ・西端部に中国山地から続く低い山地がみられるほかは、地域の大半が丘陵地によって構成されており、平地は非常に少なくなっている。
- ・丘陵地が、日本海に迫っており、海岸は多くの小湾や小島をともなった複雑なリアス式海岸になっている。
- ・主な河川として、十種ヶ峰などの山地を水源とする阿武川がある。

< 丘陵部の緑 >

- ・潜在植生としては、カシやシイ、タブ林などの常緑広葉樹林帯にあたるが、地域の大半がアカマツを主とした二次林によって占められている。
- ・長門峡では、様々な広葉樹林やシダ類がみられ、紅葉の名所として知られる。
- ・油谷町などでは、丘陵地に多くの棚田が残っており、日本海と一体になった景観をみることができる。
- ・萩市には、武家町や商人町、港町などの歴史を感じさせる街並みが残っており、また、明治維新発祥の地として多くの歴史遺産がみられる。

< 海岸部の緑 >

- ・海岸部は、日本海の荒波に洗われた海食海岸の名所が多い。長門市の青海島では、多くの洞門や石柱、断崖などがあり、この地域を代表する海岸景観となっている。
- ・青海島は、古くから日本海における捕鯨の中心地として栄えた所として知られる。

主要な緑地資源

山間部	森林資源	原生的自然	秋吉台国定公園、長門峡県立自然公園、豊田県立自然公園 (水源の森)十種ヶ峰(阿東町)
		二次植生	アカマツ群落
		人工林	
	高原湿原・湧水・滝	別府弁天池湧水(秋吉町)	
	鉦山(跡) 峠・街道など	欽明寺峠、萩往還(萩市・旭村・山口市・防府市) 赤間関街道 - 中道筋・雲雀峠越(美東町・秋芳町)	
丘陵地・平野部・盆地部	農業景観	ヒマワリの村づくり(むつみ村) 角島の放牧(豊北町) 後畑の棚田と漁火(油谷町) 川尻の防風林のある棚田(油谷町) 見島の棚田と見島ウシの放牧(萩市) 徳地の石垣棚田と茶の木(徳地町) 秋吉台のドリーネ畑(美東町) 川中地区の水田(下関市)	
	農村集落景観		
	湿原・湖沼		
	街並み・道景観	堀内地区・平安古地区(伝統的建築物群保存地区・萩市) 菊屋横丁商家町(萩市春若町~南古萩町)	
	鉦山(跡)	白須たたら製鉄遺跡(阿武町)	
海岸部	漁村・漁業風景・港町	飯井の石積防波堤(萩市) 松本川のしろ魚漁(萩市) 粟野川の川漁(豊北町) 浜崎地区(伝統的建築物群保存地区・萩市)	
	海岸林・海岸景観	青海島(長門市仙崎) 俵島(油谷町) 須佐湾(須佐町) 大吼谷蝙蝠洞(豊浦町) 竜宮の潮吹(油谷町) 北長門海岸国定公園	
歴史文化資源		土井ヶ浜遺跡(豊北町) 萩城跡	

鳥取県～山口県長門地域資源分布図

